

新病院で患者増、病診連携が進む 保育所は応能負担、なぜ学童クは応益負担？

市民福祉常任委
12月11日(金)

厚木市立放課後児童クラブ条例

現在、全小学校で3年生までを対象として行っている留守家庭児童クラブを、来年4月1日から放課後児童クラブとして学年を限定しないことにするといふもの。

さらに、現在は徴収していない育成料を、月額4000円(午後6時まで)・4800円(午後6時超)とするものです。

規則(案)では、開所時間を、授業のある日は現在の午後6時30分までを午後7時までに。授業の無い日は午前8時30分からを7時30分からに。育成料の減免は全額または半額としています。

釘丸議員 現在は行政判断により育成料は取っていない。子育て日本一のスローガンとの絡みはどうなのか。

子ども育成課長 子ども子育て支援新制度になり、児童福祉法も変わった。設備、運営を充実し環境を整える。

釘丸議員 国は、経費の2分の1を利用者が負担するとしているが、市は3分の1を独自に出している。課長 育成料4000円は県内19市で最も低い。民間との差を縮め、利用者に相応の負担を。

(※育成料と実費4000円を合わせた金額と比較すると、厚木市

より低い市はいくつかある)

釘丸議員 対象児童を6年生までとするが、待機児が増えるのではないのか。

課長 他市では4・6年生は1割ある程度、飲み込めると考える。

釘丸議員 施設の拡大は検討したのか。

課長 余裕教室の活用、公共施設の利用。現在は南毛利学習支援センターを使っている。

釘丸議員 保育所の保育料は収入に応じて応能負担となっている。育成料、一律4000円の応益負担は何か。

課長 公の施設の使用料であり受益者負担。所得に配慮した減免制度もある。

釘丸議員 指導員の時間数が増えるが人数増は。指導員には支援員と補助員があるが、資格は。

課長 40人の増である。保育士・教員はそのまま支援員になれる。高卒以上は2年間の経験と都道府県の研修が必要である。

この他、各委員からも多くの質疑がありました。また、採決前に、2人の議員が賛成の立ち場で討論を行いました。

採決の結果は、反対が釘丸議員のみ、賛成多数で可決。

厚木市立病院事業会計補正予算

収入の医業収益を1億395万円、支出の病院事業費用を6727万円、それぞれ追加するもので

す。

釘丸議員 収益増、患者増の要因は。経営管理課長 3月に新病院ができ289床から304床になった。

診療科目も細分化しサブスペシャリティを標榜、入院患者が6・2%、外来も4%アップした。費用は、薬品や材料費など。当初予算で患者数の増を見込んでいたが、高度医療、手術数の増などがあつた。

釘丸議員 診療報酬は全国一律だが、患者一人当たりの在院日数、負担、稼働率は。

課長 昨年度、診療報酬改定があった。新たな施設基準をとり、前年度に比べ入院1日の患者負担平均は3、376円増え56、732円になった。在院日数は10・5日から10・1日に短縮し、早く治り退院できるようになった。外来は12、536円。抗がん剤や透析も増加した。

釘丸議員 「かかりつけ医と厚木市立病院の医療連携の案内」のリーフ、市内の医療機関を独自に取材した各医療機関の案内リーフも作り、ロビーに置いていく。病診連携の状況は。

病院事業局長 国は機能分担をい、かかりつけ医をもつことを勧めている。当院は2次医療機関であり、病診連携を今年特に強化していく。11月の他医療機関からの紹介率は70・2%、逆紹介率は43・1%と以前より高くなっている。7月からは紹介患者優先受付を行っている。

質疑を行ったのは釘丸議員だけ。採決結果は、全員賛成で可決。

他に、一般会計補正予算、請願・陳情にも時間をかけ、50分の昼休みをはさんで委員会終了は午後1時40分でした。委員がそれぞれの視点で質疑を行い、討論もあるなど、活発な委員会でした。

特に請願2件は、休憩時間に請願者の5分間の意見陳述と、委員からの多くの質疑がありました。残念ながら、その様子はインターネット中継されません。直接委員会室での傍聴をお勧めします。

福祉、教育、まちづくり、平和など 2016年度予算要求84項目を提出

今週の活動から



(左：栗山香代子議員、中央：釘丸久子議員)

12月10日、1016年度予算要求書を厚木市長あてに提出しました。大項目10、個別項目84です。今年は平和の取り組みやマイナンバー制度についても取り上げました。今週・来週と2回にわたって内容をお知らせします。